

# 令和元年度事業報告

全国の犯罪発生件数（刑法犯認知件数）は、平成15年以降一貫して減少傾向を示し、令和元年中も対前年比6万8,779件（8.4%）減の74万8,559件となり、5年連続で戦後最少を更新するなど数字の上では良好な治安情勢が保たれている。

しかし、その実態には、全体の約8割を占める窃盗や器物損壊が全体の減少分の約80%以上を占めたほか、特殊詐欺の認知件数は減少したものの依然として高水準にあり、特に令和元年には高齢者から電話で資産状況を聞き出した上で犯行に及ぶ手口の強盗被害が発生するなど厳しい状況が続いている。また、子どもや女性が被害者となる犯罪や国民に不安を与える凶悪事件が後を絶たず、犯罪情勢は予断を許さない状況にある。

一方、島根県の犯罪発生件数は、平成16年から概ね減少傾向を示し、令和元年中は対前年比321件（12.2%）減の2,310件となり、ピークであった平成15年（9,217件）の約25.1%となったが、殺人・放火・強盗等凶悪事件の発生があったほか、子どもに対する声かけ・つきまとい事案は、ここ数年100件以上の発生で推移し、更には、年々悪質巧妙化する新しい手口の特殊詐欺により、被害が後を絶たないなど、県民が真に安全で安心して暮らせることを実感できる体感治安を向上させるためには、まだまだ取り組むべき課題が残されている。

当会では、令和元年度事業計画及び県内における犯罪発生状況などその時宜に応じ、警察本部、各地区防犯協会等と連携を図りながら「街頭防犯カメラの拡充整備」、「通学路における子どもの見守り活動」、「高齢者をはじめとした特殊詐欺被害防止のための啓発活動」などの事業を重点的に推進したほか、県民の自主防犯意識の高揚や、地域や職域における自主的な安全・安心諸活動の継続に資する各事業を推進し、安全で安心なまちづくりに寄与した。

実施項目	実施事項及び内容
1 地域安全意識の高揚と地域安全活動の広報啓発	(1) 機関紙「防犯しまね」の発行 振り込め詐欺被害防止対策、子どもの安全確保対策、少年の非行防止と健全育成、県内各地域の活動状況、防犯に関する意見・提言、犯罪統計等各種の情報を盛り込んだ機関紙「防犯しまね」を季刊発行(年3回)し、県内全世帯に回覧、配付する等して防犯意識の高揚・啓発に努めた。 ・第129号 令和元年7月夏号 (29,000部) ・第130号 令和元年10月秋号 (29,000部) ・第131号 令和2年1月新春号 (28,900部)

	<p style="text-align: right;">計 86,900部</p> <p>(2) <u>県防連ホームページを活用しての広報啓発</u>  ホームページを適時更新し、防犯連合会の事業、地域ボランティアの活動紹介のほか犯罪情勢や各種犯罪への注意喚起など情報発信及びボランティア活動等に活用できる資料（PDF）の搭載などにより啓発に努めた。（QRコードの活用によるHP閲覧）</p> <p>(3) <u>ラジオスポット放送による啓発</u>  高齢者が特殊詐欺で多額の被害を被っている現状を踏まえ、その被害を防止するため、歳末特別警戒期間中の12月、BSS山陰放送「音楽の風車」などの番組において注意を呼びかけた。  ・「特殊詐欺に注意」（20秒スポット） 9本放送</p> <p>(4) <u>ポスター等の作成・調達と掲出</u>  「犯罪のない安全で安心なまちづくり旬間」（10月）をはじめとした防犯運動や各種の犯罪被害防止を呼びかける全国統一ポスター、チラシ等を調達し、各地区防犯協会、警察署を通じて県内各地に掲出して地域安全等の意識高揚に努めた。  ○ まちづくり旬間（全国地域安全運動）  ・全国統一ポスター（B3） 150枚  ・リーフレット 350枚  ○ 図書カード 550枚  「みんなでつくろう日本一安全で安心な島根」</p> <p>(5) <u>防犯ポスター・標語の募集</u>  全国地域安全運動（10月）に向け、（公財）全国防犯協会連合会、警察庁等が募集する「防犯統一ポスター」と「統一標語」について、各地区防犯協会、警察署などを通じて募集を行った。</p>
<p>2 防犯団体の育成及び防犯ボランティア活動に対する協力援助</p>	<p>(1) <u>令和元年度「犯罪のない安全で安心なまちづくり大会・地域ボランティア交流会」</u>  令和元年度「島根県犯罪のない安全で安心なまちづくり旬間」の実施に併せ、標記の大会が島根県・島根県警察本部・島根県教育委員会の主催で開催され当会も後援すると共に、大会運営に参画し、啓発資料の調達など支援を行った。  大会には、県東部の防犯ボランティア等を中心に参加し、  ○ 島根県知事（代理）による  犯罪のない安全で安心なまちづくり啓発ポスター入賞者表彰  ○ 当会顧問（島根県警察本部長）による  全国防犯功労者、防犯荣誉金章・同銀章・功労ボランティア団体・防犯功労団体表彰の伝達  ○ 基調講演</p>

摂南大学法学部 中沼丈晃教授

「もっと防犯ボランティア活動を楽しむ4つのコツ」

○ その他

啓発ポスターの展示、ふれあいコンサートなどが行われ、地域ボランティア等の士気を高め、安全安心まちづくりの気運が大いに醸成された。

【開催日時・場所】

○ 令和元年10月12日(土)

ビックハート出雲 参加者100名

- (2) 「次世代防犯ボランティアリーダー研修会」への派遣  
11月18, 19日、東京で開催されました「次世代防犯ボランティアリーダー研修会」に島大生など3名を派遣した。
- (3) 「大規模災害発生時における防犯活動緊急支援助成事業」に団体登録

(公財)日工組社会安全研究財団が行う「大規模災害発生時における防犯活動緊急支援助成事業」に団体登録を行った。

※ 大規模災害発生時に防犯活動に必要な資機材の購入等に100万円を上限とする助成がされるもの(10/4申請、10/25団体登録)

(4) 「防犯手帳」の配付

「防犯手帳」は、各種防犯活動のノウハウが多く登載され、防犯活動必携手帳として多くのボランティアに重宝されていることから、各地区防犯協会や職域防犯団体へ無償配付(100部)したほか、希望者への斡旋を行った。

(5) 「防犯パトロール用「青色回転灯」」の貸出し

青色回転灯装着車によるパトロール団体は、令和2年3月末現在で159団体2,343台が活発な活動が展開し、「青色回転灯」の貸出し需要も多くなっている。

令和元年度も「黄色い手帳運動」から新たに20台の寄贈を受けた。

(6) 「地域安全推進員連絡協議会総会・研修会」への参加、支援

県内の地域安全推進員で構成されている連絡協議会の総会及び研修会を支援するとともに、これに出席し情報交換等連携に努めた。

【開催日時・場所等】

○ 令和元年6月20日(木) 警察本部7F大会議室

○ 出席者：県内各地区の地域安全推進員代表、同防犯協会関係者、警察本部関係者 計 24名

(7) 「職域防犯団体等諸会議」への参画

本報告書記載の会議のほか、

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「島根県特殊詐欺撲滅対策推進本部連絡会議」</li> <li>・「島根県犯罪のない安全で安心なまちづくり推進協議会」</li> <li>・「青少年育成島根県民会議」</li> </ul> <p>等の諸会合に出席し、情報交換等相互の連携強化に努めた。</p> <p>また、当会関係の全国防犯協会連合会専務理事会議に出席して情報交換を行い、他県の効果的な事業等について本県事業に反映させるよう努めた。</p> <p>(7) <u>その他各種月間等に対する支援</u></p> <p>全国地域安全運動（旬間）をはじめ、青少年の非行・被害防止全国強調月間、薬物乱用防止強化期間、歳末警戒、特殊詐欺被害撲滅月間など季節ごとに展開される各種地域安全活動に際しポスター、リーフレット、チラシ、防犯読本等を関係団体等へ配付するなどして支援した。</p>
<p>3 防犯設備・防犯資器材のあっせん及び紹介</p>	<p><u>「街頭防犯カメラ」ほか各種防犯器材の斡旋配布</u></p> <p>街頭防犯カメラは、犯罪に対する大きな抑止力となるものであり、この普及に努めたほか、JA共済連から今年度も100台の寄贈を受け、県内各地に設置された。（JA共済連からは平成28年度から寄贈を受け、これまで通算480台となった。）</p> <p>また、その他、（株）フクダから出雲市出東地区内の小・中学校の通学路対策として、3カ所5台の寄贈を受けた。</p> <p>県内の設置台数が飛躍的に増加し、令和2年3月末には、911カ所1,061台となった。（うち警察設置は55カ所58台）</p>
<p>4 各種犯罪の抑止と検挙活動に対する協力支援</p>	<p><u>県民に不安を与える各種犯罪被害の抑止対策</u></p> <p>県内では、子どもに対する声かけやつきまとい事案も増加傾向にあるなど、県民が安全・安心を肌で感じる体感治安は未だ良好とは言えない状況にある。</p> <p>また、全国的に子どもが被害となる凶悪事件が発生したことを受けて、平成30年6月、関係閣僚会議において決定された「登下校防犯プラン」に基づき、学校、警察、地域ボランティア等と連携して通学路等における防犯対策を鋭意推進しているところである。</p> <p>このような情勢等を踏まえ、通学路の安全対策など子どもや女性の犯罪被害防止、悪質巧妙化する特殊詐欺による高齢者の被害防止に重点を指向した事業を展開したほか、地域安全意識等に係る啓発活動の充実、地域ボランティアの活動の支援による地域や職域における自主的な安全安心諸活動の促進、青少年の健全育成活動にかかる事業を推進し、安全で安心な地域社会づくりに寄与した。</p>

	<p>(1) <u>子どもと女性の犯罪被害防止</u></p> <p>ア 「街頭防犯カメラ」の普及・促進  街頭防犯カメラの設置は、犯罪抑止、通学路における子どもや、女性の安全確保に極めて有用であり、警察本部も平成23年からこれの普及を進められているところである。当会もこれに協力し「街頭防犯カメラ」の普及による犯罪の抑止に努めた。</p> <p>イ 「子ども110番の家」の普及と充実強化  登下校防犯プランに基づき、「子ども110番の家」の充実強化を図るため、これまでのステッカーだけでは視認性が低く、緊急時に子どもの目にも触れにくいことからのぼり旗の配布を望む声が多く寄せられていたことから、全国防犯協会連合会の防犯助成事業に応募して10万円の助成を得るなどし、1,200枚を作成した。</p> <p>(2) <u>特殊詐欺被害防止</u>  高齢者を対象とした架空請求等を装った新しい手口の特殊詐欺等の実態を広く広報し、被害を未然に防止するため詐欺被害防止ハンドブックを高齢者教室等で活用したほか、イベント、街頭啓発等で配付するなど効果的に活用し、啓発に努めた。  その他、「電話回線疑似交換機」と電話機を購入し、警察本部に貸し出し、実践的な防犯講習に資したほか、県内の全コンビニ店に対し、「電子マネー販売確認シート」を作成配付し、多発する電子マネーを悪用した手口に対する水際対策を図った。</p> <p>(3) <u>薬物犯罪抑止活動への協力</u>  薬物乱用防止ハンドブックの活用等により、覚せい剤、MDMA(合成麻薬)、大麻、シンナー等、薬物の乱用実態とその有害性を訴え、薬物乱用を拒絶する社会環境づくりを進めた。</p> <p>(4) <u>「暴力追放運動」や「けん銃等違法銃器根絶運動」への協力</u></p> <p>ア 風俗営業管理者に対する指導、講話  島根県暴力追放県民センターから資料を入手し、「風俗営業管理者講習」(後掲)の場を活用し、その配付や講話を行い、暴力追放や銃器の根絶機運の醸成に努めた。</p> <p>イ 暴力追放・銃器根絶島根県民大会への参加  令和元年10月30日(水) 県民会館中ホール</p>
<p>5 少年を守る活動及び少年の非行防止と健全育成活動に対する協力支援</p>	<p>(1) <u>中学生を対象とした防犯作文コンクールの実施</u>  少年の非行防止と健全育成を目的に、県下の中学生を対象に防犯作文の募集を行い、15校から39編の応募を得、審査の結果3編が優秀として中国防犯連合会連絡協議会会長表彰を受賞、5編について会長と警察本部長連盟の表彰を行い、応募者全員に参</p>

	<p>加賞を贈呈した。</p> <p>中国防犯連合会連絡協議会優秀賞</p> <p>島根大学教育学部附属義務教育学校 田中 希望 さん  出雲市立佐田中学校 今村 彩乃 さん  島根大学教育学部附属義務教育学校 稲場 彩日 さん</p> <p>(2) <u>スポーツ活動の推奨と支援</u></p> <p>令和元年度より、島根県少年柔剣道大会が廃止された。</p> <p>※ 平素、各警察署のお巡りさんから柔・剣道の指導を受けている少年に対し、練習成果を発揮する機会を与え、少年相互の友情と親睦を深めることを目的に開催されていたが、平成30年の第31回島根県警察少年柔剣道大会をもって終了した。</p> <p>(3) <u>少年ボランティア団体に対する協力支援</u></p> <p>少年の非行防止、健全育成並びに少年の社会参加活動等に取り組んでいるボランティア団体の会合や研修会の開催について支援を行ったほか、これに出席して指導、情報交換等を行った。</p> <p>ア 少年補導委員連絡協議会総会・研修会</p> <p>○ 日時・場所 令和元年5月17日(金) 警察本部大会議室</p> <p>○ 出席者： 島根県警察本部生活安全部長ほか  島内各地域の少年補導委員代表者など 計19名</p> <p>イ 少年指導委員連絡協議会総会・研修会</p> <p>○ 日時・場所 令和元年5月27日(月) 警察本部大会議室</p> <p>○ 出席者： 島根県警察本部生活安全部長ほか  島内各地域の少年指導委員 計37名</p> <p>(4) <u>少年補導委員への団体総合保障保険加入</u></p> <p>県内の少年補導委員(738名)が安心してボランティア活動に従事できるよう「少年警察ボランティア団体総合保障保険」への加入を支援した。</p>
<p>6 長寿社会対策の推進</p>	<p>(1) <u>高齢者を対象とする特殊詐欺の被害防止(前掲)</u></p> <p>高齢者をターゲットにした還付金詐欺等に加え、架空請求など、新手の特殊詐欺により多額の被害が出ていることから、当会広報紙及びホームページ等で新手の詐欺についての注意を喚起したほか、ポスター・チラシ・被害防止ブックなど、時宜に応じて作成し、高齢者の集いや自治会等の場での活用に供するなどにより被害防止を啓発した。</p> <p>(2) <u>特殊詐欺撲滅対策官民連携会議における取組</u></p> <p>島根県特殊詐欺撲滅対策推進本部(73の関係機関・団体で構成)に広報・啓発部会の本部員として参画、同連絡会議等の場において主として高齢者の特殊詐欺被害防止の啓発を行うなど関</p>

	係機関団体との緊密な連携を図った。
7 防犯功労者等の表彰	<p>(1) <u>防犯功労団体及び功労者の表彰</u></p> <p>ア 防犯連合会会長・警察本部長連名表彰  永年にわたり、地域安全活動、少年の非行防止と健全育成活動等に功労のあった団体及び個人を、5月21日(火)に開催した本会定時総会において表彰した。</p> <p>防犯功労団体 日登っ子見守り隊(雲南市)ほか7団体  防犯功労者 服部 敏夫 氏(松江市)ほか11名</p> <p>イ 警察庁長官・(公財)全国防犯協会連合会長連名等表彰  9月26日(木)東京明治記念館で開催された令和元年全国地域安全運動中央大会において、次の方々が表彰された。</p> <p>防犯栄誉金章 須山 矜治 氏(益田市)  防犯栄誉銀章 中村 義英 氏(安来市)  防犯栄誉銀章 酒本 勝治 氏(大田市)  防犯栄誉銅賞 古川 好美 氏(出雲市)ほか5名  防犯ボランティア団体  安来市地域安全推進委員連絡協議会荒島分会(安来市)  防犯功労団体 浜田市東地区防犯協力会(浜田市)</p> <p>ウ 中国管区警察局長・中国防犯連合会連絡協議会長連名表彰  防犯功労により次の方々が表彰された。</p> <p>防犯功労者 田中 源一 氏(松江市)ほか5名  防犯功労団体 大津ほのぼのネットワーク(出雲市)</p> <p>(2) <u>中学生防犯作文入賞者の表彰(前掲)</u>  中学生防犯作文コンクールの優秀者の5名を防犯連合会長・警察本部長連名で表彰した。</p>
8 風俗環境浄化活動の推進	<p>(1) <u>風俗営業管理者講習の実施</u>  島根県公安委員会から風俗営業管理者講習業務を受託し、同管理者に対し計16会場において講習を実施した。  実施状況は別記「風俗営業管理者講習実施状況表」のとおりであり、講習に当たっては、テキスト及び風俗環境浄化活動リーフレット等を調達し配布した。</p> <p>(2) <u>少年指導委員への協力助成(前掲)</u>  風俗営業店や性風俗関連特殊営業店等に立入権限を有する少年指導委員の総会に参加し情報交換等行った。</p> <p>(3) <u>ぱちんこ遊技機に対する立入検査の実施</u>  ぱちんこ店における不正行為の防止、健全化を図り、多くの客が安心して楽しめる環境を維持するため、島根県遊技業協同組合と協力し、ぱちんこ遊技機の立入検査を実施(年間)した。</p>

<p>9 収益事業</p>	<p>(1) <u>防犯資器材等の販売、斡旋</u>        子どもの安全対策、各種犯罪予防、ボランティア諸活動、地域安全運動等に資するための防犯カレンダー、防犯タスキ（腕章）懸垂幕、防犯読本、防犯ブザー、防犯標識ボール、古物標識、古物従業員証等の販売・斡旋事業を行った。        また、例年作成しているオリジナル図書カードは、日本三大船神事「ホーランエンヤ」の写真を背景に        「みんなでつくろう日本一安全であんしんな島根」をキャッチコピーとした図案とし、安全で安心な地域づくりを呼びかけた。</p> <p>(2) <u>遊技機立入検査事業の実施（前掲）</u>        平成26年4月1日、島根県遊技業協同組合と立入検査事業委託契約を締結し、県内のぱちんこ店        年間19日 73店舗（1,164台）に対する立入検査を実施、契約を適正に履行した。</p>
<p>10 公益法人としての適正な組織運営</p>	<p>(1) <u>理事会・総会の開催</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成31年度第1回理事会        平成31年4月22日承認決議（書面表決）       <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度事業報告及び計算書類並びに監査報告</li> <li>・令和元年度定時総会の招集 等</li> </ul> </li> <li>○ 令和元年度定時総会及び第2回理事会（5月21日）       <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度事業報告及び決算報告</li> <li>・令和元年度事業計画及び予算</li> <li>・役員の変更・選任 等</li> </ul> </li> <li>○ 令和元年度第3回理事会        令和2年2月20日承認決議（書面表決）       <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度事業計画及び予算 等</li> </ul> </li> </ul> <p>(2) <u>財政基盤の確立</u>        賛助会員の新規募集について、機関紙「防犯しまね」紙上で呼びかけたほか、事業所を訪問しての募集活動を行った。        また、一般寄付についても機会あるごとに呼びかけを行った。        なお、個人・法人の賛助会費、寄付金については税制上の優遇措置が受けられる旨を会員に通知するとともにホームページ等を活用して広く県民に広報した。</p> <p>※ 賛助会員～新規10 退会7 *3月末現在～241会員</p>

別記 風俗営業管理者講習実施状況表（令和元年度）

実施日	講習会場	受講者 (営業種別)	実施日	講習会場	受講者 (営業種別)
6月 4日	安来市 安来警察署	7名 (接待飲食)	9月18日	浜田市 浜田警察署	8名 (接待飲食)
6月18日	西ノ島町 浦郷警察署	1名 (遊技場)	9月19日	浜田市 浜田警察署	4名 (遊技場)
6月19日	隠岐の島町 隠岐の島警察署	3名 (接待飲食) 4名 (遊技場)	10月 4日	松江市 免許センター	17名 (接待飲食)
6月24日	松江市 免許センター	10名 (接待飲食)	10月17日	大田市 大田警察署	14名 (接待飲食)
7月 2日	雲南市 雲南警察署	9名 (接待飲食)	10月25日	松江市 免許センター	8名 (遊技場)
8月28日	益田市 益田警察署	9名 (接待飲食)	10月29日	松江市 免許センター	5名 (遊技場)
8月29日	益田市 益田警察署	8名 (遊技場)	11月 7日	出雲市 出雲警察署	14名 (遊技場)
9月10日	出雲市 出雲警察署	15名 (接待飲食)	11月14日	出雲市 出雲警察署	3名 (遊技場)

接待飲食等営業 92名

遊技場営業 47名

合計（16回）139名